

## 平成 19 年 2 月 27 日 記者会見 会頭発言要旨

### 時事の話題

#### 日銀の金利引き上げについて

この時期に利上げに踏み切ったことは、適切な判断だった。今回の利上げが中小企業の景気回復にマイナスにならないよう、京都府・京都市には、中小企業金融対策として「小規模企業おうえん融資」の拡充を図るなど、一層の支援対策を講じていただきたい。

#### 企業の 3 四半期決算について

上場企業の 3 四半期決算がほぼ出揃ってきたが、デジタル家電・自動車関連企業を中心に、多くの企業が増収増益となった。京都の企業では、自動車関連や半導体関連を中心に好調が続いており、一部の業種を除き好決算になると見込んでいる。

#### 労働関係法案について（残業代割り増し）について

「ホワイトカラー・エグゼンプション」を導入しないまま、残業代の割増率を引き上げる労働基準法改正案には、賛同しかねる。残業の割増賃金だけを増やすというのは、結果として長時間労働を押し進めかねない。

#### 春闘について

厳しい国際競争の中で企業格差が拡大している現在において、横並びで賃金水準を底上げする市場横断的なベースアップは、もはやありえない。賃金決定は、自社の支払能力を基本として、個別労使で決定するのが望ましい姿であり、すでに多くの企業が成果を反映した各社各様の賃金制度を導入している。

#### 第 4 5 回関西財界セミナーについて

「気概ある国家、志ある企業 - 未来を築く新たな価値創造 - 」と題して行われた本セミナーは、非常に意義のあるものとなった。京都には、他の地方にはない、日本を代表する伝統と文化を教材として、誇り高い日本人を輩出していく義務があると感じた。本セミナーは、関西経済界にとって、早春を飾るイベントとして完全に定着しており、来年度も京都で開催されることを願っている。

### 時事の話題

#### 2008 年サミット誘致について

2月6日にサミット会場の視察で京都を訪れた外務省の河野外務審議官に対し、京都のサミットに対する思いや、関西として一致団結して取り組んでいくことを強くアピールした。安倍首相が日本にとってどこで行われるのが最良の選択か、適切にご判断されるなら、京都しかあり得ないと確信している。

3月に開催するイベントについて

「京都・花灯路 東山」は3月10日から21日までの12日間。第6回目のケータイフォーラムは、北京で開催する。桜のライトアップ助成事業は、祇園白川・上木屋町・下木屋町・岡崎公園・佛光寺・高雄の6箇所に助成する。

以上